

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フィスコ

コード番号 3807 URL <http://www.fisco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 狩野 仁志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 長岡 信一郎

TEL 03-5774-2440

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,042	256.4	94	316.3	124	846.9	122	59.0
23年12月期第3四半期	573	△17.3	22	—	13	—	77	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 127百万円 (87.2%) 23年12月期第3四半期 67百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	1,770.35	—
23年12月期第3四半期	1,089.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	3,771	2,146	40.5	22,078.53
23年12月期	1,879	1,491	74.8	20,216.46

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,527百万円 23年12月期 1,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年12月期の配当予想につきましては、単体の業績動向に左右されることから引き続き未定としております。

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

当社グループは、株式市況、為替相場、商品市況等のさまざまな不確実性が存在する市場環境の動向を大きく受ける傾向にあることから、従来、業績予想につきましては、開示していませんでしたが、株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーを連結の範囲に加えたことにより、情報サービス事業の業績が損益に与える影響が少なくなったと判断し、連結業績予想を開示することといたしました。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,056	260.4	210	3,587.5	234	2,108.7	194	40.3	2,815.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 株式会社ネットインデックス、株式会社
ダイヤモンドエージェンシー、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	73,394 株	23年12月期	73,394 株
-----------	----------	---------	----------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	4,189 株	23年12月期	3,852 株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	69,248 株	23年12月期3Q	70,818 株
-----------	----------	-----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人の消費マインドの改善傾向を受け緩やかな回復傾向が見られましたが、依然として欧州債務危機に対する懸念から不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、基幹事業である情報サービス事業の売上減少を補完し事業領域を拡大するため、積極的にM&Aによる企業結合を展開してまいりました。具体的には、平成24年7月に、通信の基本機能を担うモデム技術及びデジタル情報を特定の帯域にて通信を行うために必要なベースバンド技術を基盤とした研究開発型企業である株式会社ネットインデックス（ジャスダック：6634）発行の新株予約権の行使と転換社債型新株予約権付社債の転換により、同社の議決権比率53.59%を保有する親会社となりました。当該株式取得に伴い、当社グループはデバイス事業に進出するとともに「デバイス事業」セグメントを新設いたしました。

また、平成24年9月には、「広告代理業」を営む株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式の取得により、同社の議決権比率94.97%を保有する親会社となりました。

これに伴い、当社グループは、従来の「情報サービス事業」「コンサルティング事業」「インターネット旅行事業」に加え、上記の「デバイス事業」を加えた4事業を有する企業グループとなりました。また、第4四半期連結会計期間におきまして、株式会社ダイヤモンドエージェンシーの営む「広告代理業」を新セグメントとして新設いたします。

今後も引き続き、当社グループ各社間の補完によるシナジー効果を発現できるよう一層努力してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,042百万円（前年同期比256.4%増）、売上原価は1,274百万円（前年同期比676.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は673百万円（前年同期比74.4%増）となったことにより、営業損益は94百万円の営業利益（前年同期比316.3%増）、経常損益は124百万円の経常利益（前年同期比846.9%増）、四半期純損益は122百万円の四半期純利益（前年同期比59.0%増）となりました。

なお、セグメントごとの業績は、次のとおりです。

① 情報サービス事業

法人向けリアルタイムサービスにおいては、複数の金融機関からの解約の影響を受け、厳しい状況が続いております。その結果、当該売上高は217百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

アウトソーシングサービスにおいては、証券会社及び銀行などの個別ニーズの提案に努め、事業会社等の新規取引先を獲得した結果、前年同期を上回る実績を上げ、当該売上高は221百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

ポータルサービスにおいては、前年同期とほぼ変わらず、当該売上高は39百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

個人向けサービスにおいては、「クラブフィスコ」及び「LaQoo+（ラクープラス）」の提供サービスは、株式市場の低迷の影響を受けて、売上高は27百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

企業調査レポートサービスにおいては、新規顧客の開拓に努めて提供先数を拡充した結果、売上高は28百万円（前年同期比186.4%増）となりました。

この結果、情報サービス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は583百万円（前年同期比4.3%増）となり、営業利益は240百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

② コンサルティング事業

コンサルティング事業におきましては、ファンド事業関連の売上高が110百万円（前年同期比730.6%増）となりました。これは主に、新たにコンサルティング業務の受注したことに加え、連結子会社であるFISCO（BVI）Ltd.が組成し業務執行をしているFISCO（BVI）Limited Partnershipからの管理報酬等によるものであります。

なお、同事業の営業利益は76百万円（前年同期比354.1%増）となりました。

③ インターネット旅行事業

インターネット旅行事業におきましては、円高基調の影響を受けて海外旅行の受注が堅調に推移するとともに、国内旅行におきましても、昨年度の大震災の影響を受けた自粛ムードから回復傾向が継続しております。その結果、同事業の売上高は1,180百万円となり、営業利益は157百万円となりました。

④ デバイス事業

株式会社ネットインデックスのデバイス事業につきましては、当第3四半期連結会計期間に新セグメントとして設置しました。売上高につきましては、平成24年8月度単月の売上を連結損益計算書に計上しております。同事業におきましては、3G対応USB接続データ端末及び携帯端末の売上が順調で、月次予算を上回る実績をあげた結果、売上高は168百万円となり、営業利益は4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,891百万円増加し、3,771百万円となりました。これは主に、株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーを連結の範囲に含めたこと等により、現金及び預金が559百万円減少した一方で、のれんが668百万円、受取手形及び売掛金が437百万円、仕掛品が172百万円、土地が152百万円、投資有価証券が506百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,236百万円増加し、1,624百万円となりました。これも株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーを連結の範囲に含めたこと等により、支払手形及び買掛金が378百万円、短期借入金が242百万円、前受金が173百万円、長期借入金が210百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて655百万円増加の2,146百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金のマイナスが122百万円減少したこと及び少数株主持分が517百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想は、連結売上高4,056百万円、連結営業利益210百万円、連結経常利益234百万円、当期純利益194百万円を見込んでおります。なお、当社グループは、株式市況、為替相場、商品市況等のさまざまな不確実性が存在する市場環境の動向を大きく受ける傾向にあることから、従来、業績予想を開示しておりませんでした。株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーを連結の範囲に加えたことにより、情報サービス事業の損益に与える影響が少なくなったと判断し開示することといたしました。

本業績の見通しは、現時点において入手可能な情報に基づくものですが、事業環境等の変化により、当社業績に重大な影響が生じると判断した場合には、適宜お知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得により子会社化したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	926,656	367,592
受取手形及び売掛金	117,673	554,718
商品及び製品	—	3,350
仕掛品	—	172,025
原材料	—	23,134
前渡金	120,513	332,481
営業貸付金	—	40,000
その他	63,041	86,082
貸倒引当金	△281	△12,800
流動資産合計	1,227,603	1,566,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,396	262,441
減価償却累計額	△2,481	△206,117
建物及び構築物(純額)	8,914	56,323
工具、器具及び備品	75,412	422,063
減価償却累計額	△57,969	△370,807
減損損失累計額	△3,589	△3,589
工具、器具及び備品(純額)	13,853	47,666
土地	—	152,646
リース資産	—	3,288
減価償却累計額	—	△1,370
リース資産(純額)	—	1,918
その他	958	21,486
減価償却累計額	△319	△18,306
その他(純額)	639	3,180
有形固定資産合計	23,407	261,735
無形固定資産		
ソフトウェア	18,968	58,584
のれん	269,572	938,143
その他	4,664	23,320
無形固定資産合計	293,205	1,020,048
投資その他の資産		
投資有価証券	213,834	720,026
差入保証金	92,830	117,948
保険積立金	16,308	17,896
その他	28,131	83,831
貸倒引当金	△17,653	△17,724
投資その他の資産合計	333,450	921,979
固定資産合計	650,063	2,203,763
繰延資産		
株式交付費	2,274	812
繰延資産合計	2,274	812
資産合計	1,879,941	3,771,160

株式会社フィスコ(3807) 平成24年12月期第3四半期決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,186	388,950
短期借入金	13,044	255,741
前受金	190,787	364,616
未払法人税等	6,985	18,372
移転損失引当金	—	19,054
資産除去債務	3,000	—
その他	62,505	216,312
流動負債合計	286,508	1,263,048
固定負債		
長期借入金	86,298	296,953
長期預り保証金	15,470	15,570
退職給付引当金	—	5,285
その他	—	43,521
固定負債合計	101,768	361,330
負債合計	388,276	1,624,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,195,529	1,195,529
資本剰余金	850,238	850,238
利益剰余金	△489,372	△366,779
自己株式	△136,373	△144,391
株主資本合計	1,420,022	1,534,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	△56
為替換算調整勘定	△14,319	△6,596
その他の包括利益累計額合計	△14,129	△6,653
新株予約権	10,925	26,478
少数株主持分	74,846	592,358
純資産合計	1,491,664	2,146,782
負債純資産合計	1,879,941	3,771,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	573,153	2,042,475
売上原価	164,167	1,274,301
売上総利益	408,985	768,174
販売費及び一般管理費	386,208	673,355
営業利益	22,777	94,819
営業外収益		
受取利息	292	19,362
有価証券利息	3,725	10,494
持分法による投資利益	10,089	—
貸倒引当金戻入額	—	186
その他	1,979	3,017
営業外収益合計	16,087	33,061
営業外費用		
支払利息	1,433	1,491
為替差損	21,676	69
株式交付費償却	1,462	1,462
その他	1,161	513
営業外費用合計	25,732	3,535
経常利益	13,131	124,344
特別利益		
組合持分譲渡益	68,329	—
投資有価証券売却益	32,431	2,287
その他	—	1,910
特別利益合計	100,761	4,197
特別損失		
固定資産売却損	—	977
固定資産除却損	—	1,135
投資有価証券売却損	—	1,302
持分変動損失	—	2,904
関係会社株式売却損	1,141	—
貸倒引当金繰入額	2,000	—
移転損失引当金繰入額	20,427	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,371	—
特別損失合計	34,940	6,319
税金等調整前四半期純利益	78,952	122,223
法人税、住民税及び事業税	1,828	2,598
法人税等合計	1,828	2,598
少数株主損益調整前四半期純利益	77,123	119,625
少数株主損失(△)	—	△2,968
四半期純利益	77,123	122,593

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,123	119,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	607	△233
為替換算調整勘定	△9,833	7,723
その他の包括利益合計	△9,226	7,490
四半期包括利益	67,897	127,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,897	130,069
少数株主に係る四半期包括利益	—	△2,954

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報サー ビス事業	コンサルテ ィング事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	559,145	13,285	572,430	723	573,153	—	573,153
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	7,055	7,055	—	7,055	△7,055	—
計	559,145	20,341	579,486	723	580,209	△7,055	573,153
セグメント利益	204,250	16,841	221,092	723	221,815	△199,037	22,777

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント(教育事業関連等)であります。

2. セグメント利益の調整額△199,037千円には、セグメント間取引消去△7,055千円及び各セグメントに帰属していない全社費用△191,981千円であります。全社費用は、当社の管理部及びシステム開発部に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

平成23年9月30日付で、イー・旅ネット・ドット・コム株式会社の株式取得により、同社及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、資産が482,065千円増加しております。当該増加分は当第3四半期連結累計期間において「その他」のセグメントに含まれますが、第4四半期連結会計期間において、新セグメントとして「インターネット旅行事業」を設定し、当該セグメントに含めて開示する予定であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

成23年9月30日付で、イー・旅ネット・ドット・コム株式会社の株式取得により、同社及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。今後の事業展開によって期待される超過収益力から発生したのれんの増加額は276,484千円であります

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報 サービス	コンサル ティング	インター ネット 旅行	デバイス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	583,320	110,345	1,180,031	168,250	2,041,948	527	2,042,475	—	2,042,475
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	29,961	51,010	—	80,971	—	80,971	△80,971	—
計	583,320	140,307	1,231,041	168,250	2,122,919	—	2,122,919	△80,971	2,042,475
セグメント利益	240,390	76,484	157,373	4,519	478,767	527	479,295	△384,476	94,819

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント(教育事業関連)であります。

2. セグメント利益の調整額△384,476千円には、セグメント間取引消去△80,971千円及び各セグメントに帰属していない全社費用△303,504千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループは、当第3四半期連結会計期間に株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーを連結子会社化したことに伴い、株式会社ネットインデックスが運営する「デバイス事業」を新設いたしました。また、株式会社ダイヤモンドエージェンシーが運営する「広告代理業」を第4四半期会計期間において、報告セグメントとする予定であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ネットインデックス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得により両社を連結の範囲に含めております。これに伴い、「デバイス事業」で前連結会計年度の末日に比べ、資産が1,522,062千円増加しております。また、株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得に伴い、前連結会計年度の末日に比べ、資産は337,768千円増加しております。当該増加分は当第3四半期連結累計期間において「その他」のセグメントに含まれますが、第4四半期連結会計期間においては、新セグメントとして「広告代理業」を設置し、当該セグメントに含めて開示する予定であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、当社は株式会社ネットインデックスの株式取得により連結子会社化し「デバイス事業」セグメントを新設しております。今後の事業展開によって期待される超過収益力から発生したのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間において476,463千円であります。

また、当第3四半期連結累計期間において、当社は株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得により連結子会社化しております。当第3四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は「その他」セグメントにおいて、166,479千円であります。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。